

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	八幡屋公園
施設所管課・担当	建設局公園緑化部調整課公園活性化担当
条例上の設置目的	市民の健康の増進と文化的な都市生活の確保を目的とする。
業務の概要	八幡屋公園の管理運営・維持管理に関する業務（利用案内・運営、要望・苦情対応、園内施設管理、関係機関との各種連絡調整等）
成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
指定管理者名	スポーツパーク八幡屋活性化グループ 【構成員】 一般財団法人大阪スポーツみどり財団 株式会社COSPАウエルネス 美津濃株式会社 イオンディライト株式会社 株式会社加藤商会
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
評価対象期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者満足度
数値目標	85%以上
年度実績	89.0%
達成率	104.7%

利用状況

利用状況	—
	—
当年度	—
前年度	—
前年度比(差)	—

令和7年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	74,776,644	74,779,644	0	
	計画	74,776,644	74,779,644		
利用料金収入	実績	209,980	75,940	209,980	行為許可に係る使用料が発生したため。
	計画	0	0		
その他収入 （自主事業収入等）	実績	43,040,963	33,784,885	22,740,963	計画以上に各種イベントを開催することができたことにより、公園及び施設利用者が増え、自主事業や自動販売機に係る収入、駐車場事業利益が増加したため。
	計画	20,300,000	20,300,000		
合計	実績	118,027,587	108,640,469	22,950,943	
	計画	95,076,644	95,079,644		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	36,581,171	28,721,189	14,014,495	最低賃金の大幅な上昇や物価高騰の影響に加えて、計画以上に各種イベントを開催することができた反面、イベントへの対応や地域との連携等によって経費が増加したため。
	計画	22,566,676	22,500,676		
物件費	実績	66,947,422	62,905,651	7,340,454	物価高騰の影響に加えて、駐車場利用者のカード決済手数料の増加や既存公園灯のLED化の実施等により経費が増加したため。
	計画	59,606,968	59,675,968		
その他事業費 （自主事業支出等）	実績	14,529,974	15,243,357	1,626,974	物価高騰の影響に加えて、各種イベントで使用する広報看板の更新等に係る経費が増加したため。
	計画	12,903,000	12,903,000		
合計	実績	118,058,567	106,870,197	22,981,923	
	計画	95,076,644	95,079,644		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
公園利用者満足度	104.7%	B	

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
	B	概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・グリーンヒルズでは、四季折々の花を楽しめるよう、花壇管理やゾーニングに応じた植物管理を実施することに加えて、ハギの冬季ライトアップ装飾等を行うことで、魅力創出を図っていた。 ・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
事業計画の実施状況	A	・フリーマーケットや音楽イベント等による賑わい創出イベントである「八幡屋KOKOマルシェ」を年5回開催し、9月の開催では、夜間の公園をライトアップで彩る「ナイトレストラン」を出店し、利用者ニーズにマッチした公園サービスを提供していた。 ・新規事業として、「子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶこと」をモットーにした八幡屋プレーパーク事業を行い、未来を自分たちの力で創造する力を育む子どもの居場所づくりに努めていた。加えて、プレーパークの講習会による啓発活動も行うことで、プレーパーク実施に向けた地域連携や市民共創の意識の向上に努めていた。 ・園内2カ所のトイレにおいて、和式トイレ10基を洋式化したことで、利用者の利便性や快適性を向上させていた。 ・駅前広場の老朽化した5基の既存公園灯のLED化を実施していた。これにより、夜間の視認性及び安全性が向上するとともに、消費電力の削減や球切れ対応の減少等、維持管理面での負担軽減を図っていた。 ・本市が求める水準以上の効果が得られたため、「A」とした。
施設の有効利用	B	・八幡屋公園を大阪一のジャカランダの名所とするため、開花時期は「ジャカランダウィーク」と称し、P Rブースの出展や苗木の販売等の取組みを実施することで、新たな来園者を増やしていた。 ・朝潮橋駅前エントランスエリアを「八幡屋クロススクエア」と位置付け、八幡屋公園の玄関口として活性化していく「八幡屋クロススクエア事業」を推進し、スポーツ施設利用者と公園来園者、近隣住民の方々が共に参加できる賑わい創出イベントを定期的に開催していた。 ・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・幼児向けの自然体験イベントや、子どもから高齢者まで参加できるスポーツ体験イベント等、幅広い年代を対象としたイベントを実施していた。 ・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

公園利用者へのアンケートを行い、101名から回答を得た。「満足である」が53%、「やや満足である」が36%で、合計は89%であった。
「いつもきれいに手入れされていて楽しませてもらっています」、「すべてに良好状態であり、感謝しています」等といった意見があった。

6 外部専門家意見

- ・過年度より継続して地域の団体と連携して管理運営を行っており、評価できる。
- ・八幡屋プレーパーク事業の新規実施や、前年度に整備した築山に定期的に土入れ等を行い管理運営しており、デジタル社会の昨今において、子どもが野外で遊ぶ機会を積極的に創出しており高く評価できる。このような試みは、他公園への波及も期待したい。
- ・トイレの洋式化や公園灯のLED化を実施するなど、施設のメンテナンスを長期的な視点で実施しており、高く評価できる。
- ・園内でのイベント実施を通じて公園利用者の満足度を高めていると見受けられ、評価できる。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
市費の縮減	B	・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。
管理運営の履行状況	B+	・八幡屋プレーパーク事業の新規実施や、前年度に整備した築山に定期的に土入れ等を行い管理運営しており、デジタル社会の昨今において、子どもが野外で遊ぶ機会を積極的に創出しており高く評価できる。 ・トイレの洋式化や公園灯のLED化を実施するなど、施設のメンテナンスを長期的な視点で実施しており、高く評価できる。 ・概ね本市が求める水準どおりであり、評価すべき良点が認められたため、「B+」とした。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	・概ね本市が求める水準どおりであったため、「B」とした。